

令和 6 年度「福島を生きる講座」実施報告

当館では県民が福島について知識を深め新たな活動につなげることができる講座「福島を生きる講座」を開催しています。今年度、当館の森合移転 40 周年記念事業として開催した第 1 回から第 3 回までの当講座の内容について紹介します。

第 1 回「藤田浩子さんの語りの世界」

講 師 藤田浩子 氏(幼児教育専門家)

開催日時 令和 6 年 5 月 25 日(土) 10 時から 11 時 30 分

参加人数 100 名



全国各地でおはなしを語り続けている藤田氏をお招きし、福島県三春町に疎開していた頃の思い出や福島県の語り部の方との交流など、これまでの経験や語りへの思いについて、語りの実演を交えてお話いただきました。

時折笑いを織り交ぜてのお話に加えて、語りの実演の際に参加者も唱和するなど、会場内は終始楽しい雰囲気になりました。

日は県内で読み聞かせや民話の語りを行っている方もたくさんご参加いただきました。

第 2 回「ふくしまの建築の昭和—福島県立図書館が生まれたころ—」

講 師 速水清孝 氏(日本大学工学部 建築学科 教授)

開催日時 令和 6 年 7 月 27 日(土) 14 時から 15 時 30 分

参加人数 65 名



県内建築に詳しく、2021 年日本建築学会賞(論文)を受賞された速水氏に、当館が「福島県物産陳列館」を転用する形で昭和 4(1929)年にスタートしたところから現在の建物が設計されるまでを、関連建築や福島市の歴史的建造物の話も交えながらお話いただきました。

講演中はまるで昭和の福島市にタイムスリップしたようで、あっという間のとても楽しい

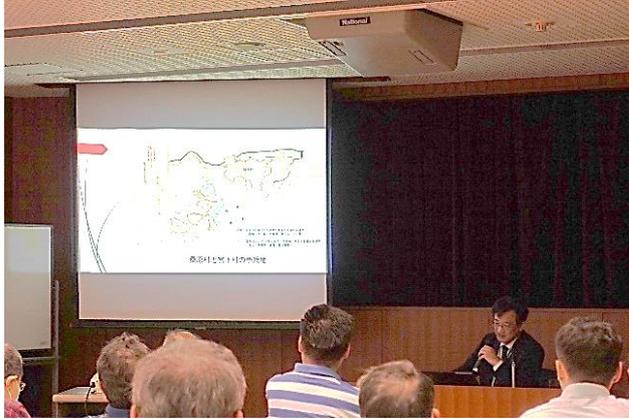
時間でした。講演会終了直後、参加者から複数、職員へ直接満足の声が寄せられました。

第3回「300年にわたる土地争い—大沼郡桑原村と宮下村の入会争論—」

講師 山田英明 氏(公益財団法人福島県文化振興財団 歴史資料課 主幹)

開催日時 令和6年9月21日(土) 14時から15時30分

参加人数 38名



大沼郡桑原村と宮下村(いずれも現三島町)の間で、慶長2(1597)年から明治13(1880)年にわたって繰り広げられた入会地(薪などを採集できる、生活上とても重要な土地)をめぐる争論について、その経緯と新史料で判明した内容をお話いただきました。

新史料の解読により、町史に記載されていた内容のその後も学ぶことができ、当県の新たな歴史の一端を知ることができたとともに、古文書を読み解く面白さを実感することができる貴重な時間となりました。講師による分かりやすい解説は、参加者の皆様に好評でした。

※福島県歴史資料館移動展「江戸・明治の争論」【令和6年9月6日(金)から10月2日(水)】の関連事業として開催されました。

(企画管理部 佐々木愛)